

## 三島保育所もちつき体験 おいしいお餅にやみつき!

### 主な内容

年頭のあいさつ	2
町の話題特集	4
まちのわだい	6
町民記者通信	8
地域おこし協力隊特集	10
図書のご案内	11
健康で元気な毎日!	
昔話(弘法様の衣 他)	12
町史編さん室だより	13
情報配信	14
町長日記	18

#### 福島県大沼郡三島町 みしままち

三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



the most beautiful  
villages  
in japan

新年あけましておめでとうございます。皆さまのご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。



三島町長  
矢澤源成

## 「進取の気風」が時代を拓く

新年あけましておめでとうございます。穏やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

新しい年を迎えるに当たり、町民の皆様へ寄り添うとはどんなことを考えると、単純な構図で雇用主は町民であり、我々は皆様の負託を受けた組織であるという謙虚さが基本であると考えます。特別な事をするのではなく、平凡な事を積み重ねていくことで非凡な三島を創るという事が私の行政哲学であり、その事の実践が町づくりであると考えます。

「温故知新」や「不易流行」の理念を取り入れながら「桐に桐を継ぐ三島の雪国の生活文化」を次の世代に継承する事が

非常に大切であると考えています。国勢調査の結果からは、当町の人口減少率が県下一の13.4%であり、会津地方町村、特に只見川流域の町村で顕著に見えます。この現実を受け止め、異次元の町振興計画後期基本計画や地方創生計画を樹立し、集落等が消滅してしまうかも知れない危機感を持って仕事をすることが大切であり、日本の山村の町づくりを先導してきた「三島フライド」を捨てる事なく地域創生に挑戦していくことが、今の時代に生きる我々の責務であると考えます。

生活工芸村構想としての生活工芸アカデミーモデル事業の応募状況等を見ると時代の変化を読み取る事ができ、果実分配型

社会や経済効果社会、グローバル社会から脱皮することが問われているような気がします。農山村回帰の時代が来ている中、この時代の流れを確実なものにするために、「地域創生」という観点から「自分の足下の泉」を掘る事が重要であります。総合パーク的な企業ではなく、小さな産業を創りながら雇用の場を創出する以外にないと考えます。それには、ローカルな社会に根ざした専門店を創り、歴史と文化（風土）に根ざした雪国の生活文化を生かす町づくりが必要です。ふるさと運動に代表される三島で提起した様々な運動は、古くて新しい運動であり、その理念は現代においてこそ輝いていると信じています。

そのような観点から、平成29年度は次の6点を重点に展開していきます。

- 1点目は、福祉、子育て支援、教育的支援、雇用の場の創設、団地造成等々の総合行政の視点から若者定住対策を推進していきます。
- 2点目は、町づくりの基本は

地区の振興にあり、地区の自発的な事業や山村文化の保存・継承・活用や空き家の積極的な活用を支援していきます。

3点目は、医療の無いところに定住無しの視点から、柳津町や金山町そして昭和村の医療圏町村とスクラムを組んで宮下病院の強化を具に要望していきます。

4点目は、生活工芸村構想の実現を図り、若者定住対策や交流人口の拡大に努めていきます。

5点目は、医療機関の充実と並行し、健康づくり運動は町の1丁目1番地であることから、町民総参加の健康寿命対策を実施します。

6点目は、地域の資源を生かし、耕作放棄地の解消や林業（桐を含む）の振興を図ります。適地作物の導入やバイオマス導入等の可能性を検討し、雇用の場の確保に努め持続可能な社会を創ります。



三島町議会議長  
五十嵐健二

## 行政・議会・町民が一体となり、

## 日々の暮らしに喜びを実感できる町づくりを

新年あけましておめでとうございます。雪の少ない穏やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

皆様には日頃より議会に対し、ご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、平成28年を振り返りますと、熊本地震をはじめ、各地で大きな災害が発生しました。幸いにもわが三島町においては、災害もなく平穏無事な1年であったと思います。昨今は、日本経済の長引く景気低迷の影響を受け、地方自治体を取り巻く財政環境は、ますます厳しい状況にあります。一方、地方分権改革は、本格的な実行の段階に入り、地方自治体の自己決定、自己責任が強く求められており

ます。住民の参画のもと、自治体自らの判断と責任において多様な施策を展開していくことが必要であると考えます。

現在、三島町では、人口減少に加え、少子高齢化も急速に進んでいます。国が進める様々な事業を通し、単身者用住宅の建築や子育て支援事業の充実を図り、若者定住のための施策を行っています。

また、人口減少に伴い、空き家の増加も大変深刻な問題となっており。町では、データベースを構築し、空き家の利活用に向け動いております。

そして、雇用の場の確保も大きな課題のひとつであり、農業法人桐の里産業株式会社は、期

挨拶いたします。



▶外壁工事が完了し、内装工事中の三島町若者単身用住宅（12月現在）

待される存在であります。その振興策として、昨年からミニライズセンターも稼働しました。これらの事業の遂行や問題解決のためには、行政ばかりでなく、議会、町民が一体となり知恵を出し合い、創意工夫していかなくてはならないと考えます。厳しい環境を乗り越え、心の豊かさや日々の暮らしに喜びを実感できる町づくりを進めていくために、町民の皆様と協働しながら自治力を高めなければならぬと考えます。

最後になりますが、問題解決に向け一層のお力添えをいただきますようお願いいたします。共に、三島町の発展と皆様のご多幸ご健勝、今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。年頭の

# 自治功勞表彰

新春祝賀会並びに自治功勞表彰式は1月4日、町民センターで行われ、功勞のあった次の方々に、矢澤町長から表彰状と記念品が贈られました。



自治功勞表彰を受けた皆さん。(前列左から)角田定男さん、本名光子さん、坂内綾子さん、小柴美蘭乃さん、吉田晃さん、(後列左から)小柴謙さん、佐久間源一郎さん、若林正光さん、五十嵐豊一さん

## ◆功勞表彰

【スポーツ推進委員】

五十嵐 豊一様(西方)

【消防団員】

大島 昇一様(浅岐)

大竹 正和様(滝谷)

小柴 謙様(西方)

【元町職員】

本名 光子様(西方)

【多額の寄附】

坂内 綾子様(新潟県)

## ◆顕彰表彰

【全日本合唱コンクール東北支部大会出場】

小柴 美蘭乃様(西方)

## ◆善行表彰

【多額の寄附】

小貫 芳信様(東京都)

吉田 晃様(会津若松市)

## ◆感謝状

【多額の寄附】

佐久間 源一郎様(早戸)

【財産の寄附】

角田 定男様(会津若松市)

目黒 祺彦・ヤス子様(宮下)

【絵画の寄附】

若林 正光様(滝谷)



▲新春祝賀会の様子

## 県立宮下病院より

# 新年のごあいさつ



県立宮下病院長  
浅野 宏

新年あけましておめでとうございます。吹病院から応援をいただき、整形外科、耳鼻咽喉科、皮膚科、心身医療・もの忘れ外来、ペースメーカー外来等の外来診療も引き続き行うことができました。これらの病院の皆さまに深く感謝申し上げます。

新年の初めにあたり、一言御挨拶申し上げます。

昨年度は、耐震補強工事のため地域の皆さまには御不便、御迷惑をおかけしたことをあらためてお詫言するとともに、御協力に感謝いたします。4月に、内科医師の交代がありました。4月に、常勤医師5名での体制が維持され、診療所や介護施設への応援は前年と同様に実施することができました。

また、会津医療センター、県立矢

また、会津医療センター、県立矢

吹病院から応援をいただき、整形外科、耳鼻咽喉科、皮膚科、心身医療・もの忘れ外来、ペースメーカー外来等の外来診療も引き続き行うことができました。これらの病院の皆さまに深く感謝申し上げます。

その他、昨年4月にX線骨密度測定装置を設置し、高齢者に多い骨粗しょう症の検査、診断、治療に役立っています。あわせて、当院では血液検査で骨粗しょう症と診断できる指標について研究を行っています。

皆さまの御要望に応えられるよう努めてまいりますので、今年もよろしくお願いいたします。

今年が、皆さまにとってよい一年になりますように。

問 福島県立宮下病院 ☎(52)2321

## 当町が福島県市長会会長賞を受賞

KFB東邦銀行  
ふくしまの元気！応援CM大賞2016

「KFB東邦銀行ふくしまの元気！応援CM大賞2016」において、当町が第4位に当たる福島県市長会会長賞を受賞しました。

このコンテストは、県内市町村を対象として、地域に元気や活力を提供することを目的に15秒CMを募集するもので、今年度は29市町村が参加しました。受賞したCMは、地域おこし協力隊が主体となり、三島町に移住して体験した心温まるエピソード

ソードを実際にお世話になった住民の方々の協力を得ながら撮影、編集したもので、『人情溢れる三島町』というテーマで15秒では伝えきれない町の良さをユーモア溢れる方法で表現しました。

審査では「15秒という短い間で、あえて5秒にたくさんのごとを詰め込む表現に面白さを感じた」と評価されました。副賞としてKFBで30回放送されます。



受賞が決まり、喜ぶ当町メンバー。その収録番組は12月24日にKFBで放送された。

右記のQRコード、又は、下記のURLより受賞した三島町のCMがご覧になれます。



URL : <http://www.youtube.com/watch?v=WJFHgVr4EoY>



## よ 買ってがん処夕市【第20回】 たくさんの人たちで賑わう

11月30日、TWD委員会による「第20回買ってがん処夕市」が宮下地区にある元共栄産業の店内で開催されました。パンやお惣菜などが販売され、夕市を目的に来てくださった方はもちろん、帰宅途中の方や子どもたちも集まり、お目当てのものを通常より安く、そして楽しく会話をしながらお買い物をしていました。次回の皆様のご来場をお待ちしております。

## 飲 酒運転根絶・火災防止を呼びかけ 町内の飲食店訪問啓発活動行われる

12月21日、交通安全協会三島分会、交通安全母の会、交通安全教育専門員、防犯指導隊、消防団合同により、町内の旅館や飲食店を訪問し、年末年始の交通事故防止訪問啓発と防火広報活動を行いました。ドライバーの方は常に注意を払い、安全運転を心掛けるようにしてください。また、年末年始は火災の危険が特に大きくなる事から、お休み前やお出かけ前には火の元の確認を行きましょう。



## も ちつきペタン、ペタンコ♪ 三島保育所でもちつき体験

12月22日、三島保育所でもちつき体験が行われ、子どもたち一人ひとりが、子ども用のちいさなきねを持ち、一生懸命もちつきをしました。お友達がもちつきをすると「がんばれ！がんばれ！」と声援が響き、弾力のあるお餅が完成。きな粉餅やあんこ餅、つゆ餅などを食べ、伸びるお餅に苦戦しながらも、たくさんおかわりし、みんなで美味しく食べました。

## ふ るさとの香りを発送 地元のおばあちゃんが作る美味しい餅を各地へ

昭和49年に当町が始めた「ふるさと運動」の一環として、特別町民の皆さまに、毎年届けている「ふるさとの香り」が12月23日に発送されました。今回の詰め合わせには、西方地区のおばあちゃんが心を込めて作る恒例の餅や山菜加工品、地鶏ラーメンなどのほか、奥会津温泉郷協議会発行の2017年奥会津歳時記カレンダーが入っています。



## 新 民生委員・児童委員 社会福祉の向上に努める

12月1日、社会福祉協議会において三島町民生委員・児童委員の委嘱状伝達交付式並びに研修会が行われました。

今回の一斉改選では6名の方が退任され、新たに7名の方が加わり、計15名で当町の福祉の向上、地域住民からの相談への対応、高齢者・障がい者世帯等の訪問、子どもたちの安全を守るための活動等に尽力いただきます。

秘密は厳守いたしますので、日々の暮らしの中で困ったことや心配ごとがございましたら、気軽に声を掛けてください。



▲委嘱状を受けた、民生委員・児童委員の皆さん  
※目黒政寿さんはご都合により欠席

### 民生委員・児童委員名簿

(任期：平成28年12月1日～平成31年11月30日)

担当地区	氏名	備考
宮下(上)	栗城和代	2期
宮下(下)	佐久間宗一	2期
荒屋敷・中平・桑原	二瓶とよ子	新
大登・川井	森田喜美代	新
桧原	佐々木邦雄	2期
滝谷	目黒恒子	新
大谷	二瓶正雄	2期
浅岐・間方	角田ツヤ子	2期
西方(1)	小松豊	3期
西方(2)	山内初治	新
大石田	秦京子	2期
名入・小山・高清水	酒井いづみ	新
滝原・早戸	佐久間絹江	新

### 主任児童委員

(任期：平成28年12月1日～平成31年11月30日)

担当地区	氏名	備考
全域	目黒政寿	新
全域	渡部規子	新

## ク リスマス発表会【三島保育所】 歌って踊って会場に笑顔贈る

12月3日、三島保育所でクリスマス発表会が行われ、我が子の活躍を一目見ようとたくさんのご家族の皆さんが集まりました。子ども達のかわいらしい歌や踊り、劇に会場からは笑みがこぼれおち、たくさんの拍手が送られました。

発表会後には、ピアノとバイオリン演奏者の佐藤<sup>なおほる</sup>美治・久美子ご夫婦によるクリスマス・ファミリーコンサートが行われ、会場を魅了した後、最後にはサンタクロースが登場し、子ども達にプレゼントが贈られました。



## みんなでプール壁画制作

文・写真 小島純さん(宮下)

宮下・荒屋敷地区では、「まちなみ景観を生かしたおもてなしの地域づくり」をテーマに6つの基本目標を定めて地域の活性化に取り組んでいます。この基本目標の1つに、「子どもが自分で考え、判断し、行動する人間に成長するには、町は最高の教室である。」を理念に取り組む「子育てのネットワーク」があります。この実践の1つとして、12月12日、三島小学校の6年生の児童と地区住民が協働して、三島小学校のプール壁画の制作に取り組みました。



## みんなで収穫を祝う

文・写真 小島純さん(宮下)

宮下・荒屋敷地区では「まちなみ景観を生かしたおもてなしの地域づくり」に取り組んでいます。

このような中で、当地区も遊休農地が増え、景観を阻害するようになってきており、毎年、地区の有志で遊休農地をお借りして蕎麦の花による良好な景観作りに取り組んでいます。

これを「そばの花でいっぱいの地区景観づくり運動」と呼んでいます。

11月28日、宮下活性化センターにおいて、応援団の皆さんと、収穫祭を行いました。参加者は美味しい新そばを食べながら、和やかに過ごしました。「そば口上」も披露され、大いに盛り上がりしました。



## 地区委員による今年1年振り返る交流会

文・写真 本名与四郎さん(西方)

12月15日、金山町西谷地区にある風の谷において「第9回地区委員会」が行われました。

はじめに、区長挨拶並びに区長日報による経過報告の後、各部からの協議事項を行いました。

続いて、社会部より平成29年地区新年会の実施計画案について説明がありました。主な内容として、新年会前日までの準備関係、新年会の式次第の順序や役割分担など細部にわたって協議、検討を行いました。

また、会計より地区新年会開催のために必要な食材購入準備についても社会部と協力しながら推進していくことを確認しました。

その後、今年1年の各活動を振り返ったり、来年の活動計画を話し合ったりしながらの交流会が行われました。



## 新年を迎える前に「ふるさとセンター」の大掃除

文・写真 本名与四郎さん(西方)

12月4日、婦人会と地区委員の合同による「ふるさとセンター」の大掃除が行われました。

西方婦人会長の二瓶聡子さんを中心に、婦人会の皆さんは、普段、清掃の行き届かない箇所をモップや雑巾を使いながら隅々まできれいにすることができました。また、地区委員の皆さんと地域おこし協力隊の岩本大輔さんは大ホールの大きな窓ガラス磨きをするために、はしごを使って1枚1枚丁寧に磨いたり大ホールの清掃に取り組んでいました。

2時間ほどかかった大掃除で、見違えるようにきれいになり、新春恒例の新年会を待つばかりです。



## 健康維持と交流を図るため「高清水・小山健康を守る会」の輪投げ大会

文・写真 菅家敏一さん(高清水)

12月18日に輪投げ大会が行われ、大勢の参加者が輪投げ大会を楽しみました。

この時期は、家に閉じこもりになりがちですが、ゲームをしながら交歓会の場になり、楽しい一時を過ごしていました。地区の皆が集まることにより、お互いの元気な姿を見るにつけ、元気をもらえることも何よりです。インフルエンザなどに気をつけて、次回を楽しみにして散会しました。



## 充実した地区座談会

文・写真 佐々木邦雄さん(桧原)

12月5日、桧原多目的集会所において「地区座談会」が行われました。町役場より町長、副町長、教育長、各課の課長、地区担当職員及び議会議長と3名の議員の合わせて14名の多数の出席を頂きました。

はじめに、片山一雄区長と矢澤町長のご挨拶を頂き、各課長の具体的な説明をお聞きした後、意見交換に入りました。①地方創生関連事業への進捗と生活工芸村構想について②健康ポイント制度について③三島町の学校給食実施に向けての進捗状況と今後のスケジュールについて④地区要望事項における現時点での町の対応状況の説明、その他、平成23年7月に起きた新潟福島豪雨で被災し、現在も一部区間が不通となっているJR只見線復旧の今後の見通しについても、意義のある意見交換がなされました。

建設的な意見交換会となり、今後の三島町そして、桧原地区の生き残りをも考えた地域づくりについて、充実した地区座談会となりました。



# 図書のご案内

## 町民センターゆめぼけっと

下記の雑誌を毎月購読しています。  
ひよこクラブ・たまごクラブ・  
山と溪谷・オレンジページ・壮快・  
Number

### ○利用時間

月～土 午前9時～午後9時  
日・祝日 午前9時～午後5時

### ○お休み

年末年始

公民館 ☎ (48) 5599

### ●今月のおすすめ!

『永い言い訳』 著者：西川 美和

「愛するべき日々には愛することを怠ったことの、代償は小さくない」

長年連れ添った妻・夏子を突然のバス事故で失った、人気作家の津村啓。同じ事故で母親を失った一家と出会い、はじめて夏子と向き合い始めるが・・・。



### ●図書の紹介!

題名	著者
どんぐりむらのだいくさん	なかや みわ
五輪書	宮本 武蔵
タスキメシ	額賀 滯
ぼくのつくった魔法のくすり	ロアルド・ダール
夜行	森見登見彦

# vol.1 健康で元気な毎日!

町民課保健福祉係 ☎ 48-5565

12月14日、保健推進員さんの研修会が開催されました。皆さんは、野菜、お魚、ご飯等、1回の食事にどれくらい食べたらいいかご存知ですか? 研修会では、「1回の必要量」「塩分」「栄養素のバランス」を考えた食事を保健推進員さんが町の栄養士から学びました。皆さん! ぜひ地区の保健推進員さんに適切な食事量を聞いてみてください。

※持っている病気によって違うので詳しく知りたい方は栄養士にお尋ねください。

※あくまでも目安です。

1日分の野菜		
・白菜1枚	・もやし40g	・大根40g
・玉ねぎ50g	・人参50g	
・ほうれん草1/2袋くらい	※どんな野菜でも	
1日分のお肉・お魚・豆腐・卵		
・豚肉50g	・鮭50g	・豆腐1/4丁
		・卵1個
1日分のくだもの・牛乳など		
・じゃがいも1個	・えのき50g	・りんご1/4個
・みかん1個	・牛乳200ml	

ご飯は1人ひとりに合った量を計算で出します。



きちんと測って…私はこれくらい!

### 栄養士さんに質問タイム

Q: 野菜の取りすぎはよくないの?

A: 栄養素の吸収を妨げたり、繊維が便秘の原因になることもあります。

Q: 野菜は生の方がいいの?

A: 量が適量であれば、ゆでても、炒めても大丈夫です!



## 地域おこし協力隊に聞いてみた!

第5回目 **岩本 大輔**さん  
(だいちゃん)

地域おこし協力隊のみなさんが普段どのようなお仕事をしているのかなどをご紹介しますコーナー!  
第5回目となる今回は西方地区の集落支援を担当している岩本大輔さんにお話を伺ってきました!

**集落支援担当**  
**岩本 大輔さん**

### どのようなお仕事を担当されていますか?



▲ 集落支援を担当している岩本さん。森の校舎カタクリでは事務処理などの業務もこなす。

現在は西方地区の空き家を借りて暮らし、森の校舎カタクリを拠点として活動しています。集落支援の活動で行っていることは地区行事の準備や参加、役員会へ出席することなどです。また森の校舎カタクリでは接客や事務処理、館内清掃などの宿泊補助業務を行っているほか、今後の運営方針に向けた話し合いにも参加させてもらっています。

### 集落支援をして気づいたこと

地区行事に参加していると子どもたちの姿をよく目にします。三島町全体でも子どもの数が減っている中、子どもたちが楽しそうに行事に参加しているのを見ると、子どもたちの結束力が強いのだと改めて感じ、嬉しく思います。また地区の方には大変良くしてもらい、事あるごとに声をかけて頂いたり農作物を頂いたりとお世話になっています。



▲ 2017年は西方地区にもっと人呼び込みたいと意気込みを見せる。

## あそぼう団 で 若者同士の交流を 深めよう!



三島町に関わる若者たちが交流できる場として三島町地域おこし協力隊を中心に『あそぼう団』というグループを結成しました。

これまで大林公園にてバーベキュー大会、三島町営スキー場にてクリスマス会を開催。約40名もの若者が参加し交流を深めました。

またコミュニケーションの場としてボードゲームを楽しむイベントも不定期で開催しています。2017年も若者同士が楽しんで交流できるイベントを企画していきますので、三島町に関わる若者の方々ぜひ参加してみてください。詳しい情報はお知らせ版や三島町ホームページに掲載する予定です。



▲ バーベキュー大会では約40名もの若者が参加。若者同士が交流することで町の活性化に繋がりたい。



弘法様の衣

むかしむかしあったつけえど。

正月を迎えだこごいらの村さ、弘法様が托鉢にまわってきやっただ。村の様子見に来らつただばなあ、雪中、一軒一軒声かげらつただ。弘法様よれよれの衣装着てポロポロの笠かぶつて「チーン」ちゃせで門さ立つて、

「な〜んだ、ほいどだ〜おら家では関係ねえ」つうどピシャ！戸閉める。  
「うーきつたねえ！何もやるがななの無え！」おつたぐらつちやど。  
弘法様は灯かり乏しい家の門さ立つたど。したらば腰まがつたじい様どばあ様、  
「あれあれ、雪中ご苦労様でやした。よつて茶でも」なんつうだど。  
「ありがたいなあ〜達者だな」つうど、あつたまつて出てがつたどな。

さて翌日の事、弘法様なあ今度あ立派な衣で昨日追い返さつ

ちや家の門さ立つただどなあ「チーン、チーン」鐘ならしたら、透き間がら見てだだべえ。

「あらあらこんな立派な和尚様あ、たいした和尚様だあ！寄つてください！さあどうぞどうぞ」家の達え、大騒ぎして中さ入れたど。せえがら、「これ食べてくなんしょ。ながなが手に入らない特別なお料理なだがら〜」

「俺あ家にはか無え、特別なお茶だがらつし。お吸い物椀も立派だべよ〜」さあさ、さあさ、昨日どは、コロツとてつくり返したようにもてなしただど。

そうしたら弘法様な、お茶もお吸い物も至れり尽くせりの御馳走をな、みな衣さかけでしまわれたど。  
「やいやいなんだどまあ〜」立派な家の人だれたまげでたら、

「昨日来た乞食坊主は実は私だったんじや。今日は衣を着変えてきたんじやよ。お前達は私に御馳走を施してくれたのでは

なくて、この衣装に御馳走してくれたんじやな。私はこの御馳走を食べる価値はない。この衣が食べる価値があるのだな」と、御馳走をみくんな衣にかけてしまったそうだよ。

ざつとむかしがさげた元話 故 五十嵐三ノさん(西方) 再話 五十嵐七重さん(西方)



良い男の数え歌

ひとつ 非常に 良い男  
ふたつ ふたりとないほど 良い男  
みつ ひとつな 良い男  
よつ よつほど 良い男  
いつ いつでも 良い男  
むつ むしように 良い男  
ななつ なんでもかんでも 良い男  
やつ やつぱり 良い男  
このつ これでも 良い男  
とおに とんでもないほど 良い男

元話 阿部マサエさん(松原) 再話 五十嵐七重さん(西方)

数えうた

正月せえ 障子あければ万歳の、鼓の音やら 唄のこえ〜唄のこえ〜  
二月とせえ 二階にいるのは高等科  
下にいるのは 尋常科〜尋常科〜  
三月せえ 咲いた桜は美しく〜  
飾つてみれば 内裏様〜内裏様〜  
四月とせえ 死んでまた来るお釈迦様  
竹のこ開けば そでおしゃか〜そでおしゃか〜  
五月とせえ ごんぼ畑に菜をまいて〜  
お正月くるのを待つている〜待つている〜  
六月せえ るくに田の草とらないで〜  
二番 三番 とつている〜とつている〜  
七月せえ 質屋の番頭さんは忙しい  
質においたり 流したり〜流したり〜  
八月せえ 蜂にさされてないでいる〜  
なにか葉は あるまいか〜あるまいか〜  
九月せえ 草の中にはなにがある〜  
匂いのはげしい菊がある〜菊がある〜  
十月せえ 重箱かついで何処へ行く〜  
これは姉さんのお土産に〜お土産に〜

元話 阿部マサエさん(松原) 再話 五十嵐七重さん(西方)

町史編さん室だより

第 12 回

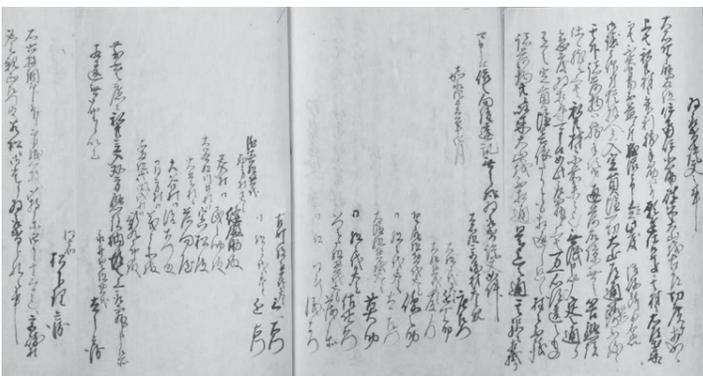
もし、ご家庭に古い文書などがございましたら、交流センター山びこまで一報ください。  
☎(52) 2165

西方街道、塩の道を守った村々

幕末嘉永年間「大山古道改修顛末一件」より

塩は江戸時代には定員塩などと呼ばれ、年貢米同様郷蔵に保管、村名主に管理させました。御蔵入御料で使う塩は主に瀬戸内生産の尾ノ道塩です。日本海廻りで新潟湊から津川に運び、十四貫目の俵に詰め、阿賀野川を野沢駅まで船で運搬の後、牛馬に二俵ずつ積み(二駄)、幕藩が指定する西方村の塩蔵に運ばれました。そこから伊南伊北谷四組、金山谷四組に配分される仕組みになっており、塩の運送には莫大な経費が掛かるため、塩街道沿いの村々は駄馬運送の余得で潤いました。

嘉永元(一八四八)年晩秋、滝谷組大谷組を除く伊南伊北金山谷六組の名主等と塩商人が結束、塩運送の経費が安くなるとし、大石組宮崎村の古道ほこ峠を改修して搬送路にし、宮崎村に塩役所を設置したいとの請願書が幕藩の役所に提出されました。そのことに野沢駅、西方駅及び名入、川井、大登、大谷、間方各村の名主等が反対、出入り(訴訟)になりました。結果、牛馬の通れないほこ峠の改修には莫大な経費が掛かること、また塩役所の移設は旧来の制度に抵触するとの理由で請願は受理されず、西方街道は塩の道として存続しました。今回はその顛末の末尾の資料を紹介いたします。



大竹家文書(金山町教育委員会所蔵)

取交わし證文の事

大石野尻両組、伊南伊北筋往來大山古道切り広げ相成り候上は、私共村々便利勝手筋につき願ひ達し仕り候処、その村に道出来候ては不容易不益に付き難渋を申立て、こたびお役所より厚く御論を仰せ付けられ、なお扱人(訴訟仲裁人)立ち入り、定員塩一切大山道通荷致さず候、その他諸荷物は勝手次第通荷故障これ無き苦熟談仕り候。然る上は私共村々小前(百姓)末々まで漏れなく申し聞かせ、定めを通りきつと相守らせるべく申し候。この如く取決め候上は万一心得違ひの者これあり、定員塩一俵たりとも相通し候はば村々残らず諸荷物共に以來大山越え相通さず、是までの通りその訳に相掛け申すべく候。向後違乱これ無き様取交わし證文、件の如き。

嘉永四年亥四月

- 滝谷組総代 西方村名主縫殿助殿
名入村名主民之助殿
川井村名主寅松殿
大登村名主荷間屋
大谷村名主治右衛門殿
大谷村名主治右衛門殿
間方村名主義兵衛殿
両組総代田代村名主新九郎殿

永井野組惣代 太郎兵衛 組頭 松下理兵衛

文・読み下し 角田 伊一

# 平成 28 年分 確定申告でのマイナンバーの取扱について

平成 28 年分の所得税の確定申告から、  
**マイナンバーの記載及び本人確認書類の提示又は写しの添付** が必要になります。

### ◆マイナンバーカードをお持ちでない方◆

- (①と②の両方必要です。)
- ①番号確認書類の写し (いずれか1つ)  
 番号通知カード  
 住民票 (マイナンバーの記載があるもの)
  - ②身元確認書類の写し  
 (顔写真のあるものは1つ、ないものは2つ)  
 運転免許証、公的医療保険の被保険者証、  
 パスポート、身体障害者手帳、年金手帳、  
 公共料金の領収書 等

### ◆マイナンバーカードをお持ちの方◆

- ①マイナンバーカード (両面写し)  
 ※ e-Tax (電子申告) を利用する場合は、  
 添付は不要

◇申告の際には、あらかじめ上記書類  
 を用意してください。  
 マイナンバーの記載や本人確認書類の添  
 付がなくても申告書は提出できますが、税  
 務署から確認の連絡や指導を受けることが  
 あります。

☎ 役場町民課町民係 ☎ (48) 5555

## 東北電力株式会社が 街路灯 (LED 防犯灯) を寄贈



12月5日、東北電力株式会社津若松支社長の千葉正宏さんが来庁し、地域の安全・安心なまちづくりに役立ててほしいと街路灯 (LED 防犯灯) 12灯を寄贈されました。

## 新しいパッカー車 (ゴミ収集車) が やってきた!

12月12日に、新たにパッカー車 (ゴミ収集車) が納車されました。町民の皆さまには、これからも正しいゴミの分別等にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。



町をきれいに  
三島町

## 消防署からのお知らせ 1月26日は文化財防火デー

文化財防火デーとは、昭和24年(1949年)1月26日、修理作業中の法隆寺金堂が電気座布団のスイッチの切り忘れから出火し、収めてあった壁画がほぼ全焼してしまったことと、1月、2月が1年で最も火災が発生しやすい時期であることから設けられました。

三島町においても平成29年1月29日㊿に文化財防火訓練が実施される川井地区をはじめ、後世に残すべき文化遺産が数多くあります。その多くは木や紙、布など燃えやすい素材で作られているため、所有者や管理者はもちろん、周辺の皆さんも火の取り扱いには十分注意しましょう。

### 年末年始特別警戒実施中

平成28年12月15日～平成29年1月15日

火事・救急・救助は119番まで  
 会津坂下消防署三島出張所  
 電話 52-3032  
 FAX 52-3033

# 三島保育所

## 入所のご案内

平成29年度の入所申し込みを受け付けます。

### ●保育の実施基準

- ①児童の保護者が次の①～⑩のいずれかに該当し、児童を保育することができないと認められる場合で、かつ同居の親族等が当該児童を保育することができないと認められる場合に行つものとしてします。
- ②居宅外で労働することを常態としていること。
- ③居宅内で当該児童と離れて日常の家事以外の労働をすることを常態としていること。
- ④妊娠中または出産後間がないこと。
- ⑤疾病にかかり若しくは負傷し、または精神若しくは体に障がい有していること。
- ⑥長期にわたり疾病の状態にあるか、または精神若しくは体に障がい有する同居の親族を常時介護していること。
- ⑦震災、風水害、火災その他の災害の復旧に当たっていること。
- ⑧求職活動 (起業の準備を含む) を断続的に行っていること。
- ⑨就学していること。
- ⑩虐待または配偶者からのDV (家庭内暴力) のおそれがあること。
- ⑪育児休業取得時に、既に保育を利用して居る子どもがいて継続利用が必要であること。
- ⑫町長が認める前各号に類する状態にあること。

### ●対象者

三島町に住所を有する小学校入学前の乳幼児  
 ※平成29年度の途中入所を予定されている方もお申し込みください。

### ●保育所開所時間

(月～土)  
 午前7時30分から  
 午後6時30分まで  
 ※土曜日も、事前にお申し込みただければ、午後6時30分まで利用できます。

### ●保育料

保育料は保護者の町民税額を基準として決定します。

### ●提出書類

- ①保育給付支給申請書
- ②保育所入所申込書
- ③就労証明書  
 (用紙は教育委員会事務局で配布しています。)

### ●入所申込締切

1月27日(金)

### 【申し込み・お問合せ】

三島保育所 ☎ (48) 5501  
 教育委員会 ☎ (48) 5599



## 平成29年度

# 三島町奨学生の募集

町では、高等学校、大学、高等専門学校、専門学校等の学生を対象に、三島町奨学生を募集します。希望される方は期日までに願書をお願ひします。

### ●貸与資格

- ①学生または保護者が引き続き1年以上三島町に住所を有する者
- ②品行が正しく、学術に優れ、健康である者
- ③経済的理由により就学困難と認められる者

### ●奨学資金の額 (月額)

大学生 3万円以内  
 その他 2万円以内  
 いずれも無利子です。

### ●貸与期間

進学する学校の正規の修業期間

### ●償還期間

就職6ヶ月後から月賦で6年以内での償還となります。

### ●出願手続き

奨学生願書、奨学生推薦調書を平成29年2月22日(水)までに役場総務課へ提出してください。(用紙は同課で配布しています。)

### 【出願・お問合せ】

総務課 総務係 ☎ (48) 5511

相続登記促進に係る

「公開講座」開催について

近時、不動産について相続登記がなされないまま放置されることにより、共有者が多数にのぼり、その実態の把握が困難となるなど、いわゆる所有者不明の土地や建物（空家等含む）が増加しており、そのことが災害復興やまちづくりのための公共事業を阻害しているという問題が指摘されています。法務局では、相続登記の必要性・重要性を広く国民の皆さまに知っていただくために「公開講座」を開設します。

日 平成29年1月26日(木)

午前10時30分から正午

場 会津若松合同庁舎

3階共用会議室

会津若松市追手町6-11

備 事前予約要 ☎0242(27)1498

先着20名限定

※駐車場に限りがございますので、公共交通機関をご利用願います。

福島県からのお知らせ

原子力損害賠償

巡回法律相談の御案内

福島県では、福島県弁護士会と連携し、弁護士による対面の法律相談を実施しております。相談料は無料です。で、請求手続きについて不明な点などお気軽にご相談ください。なお、事前予約制としておりますので、下記までご連絡いただきますようお願いいたします。

社会福祉協議会より

たくさんのご寄附

ありがとうございます

町社会福祉協議会へのご寄附 (ご遺志によるもの)

- 栗城 信夫 様(宮下)
松山 善之 様(西方)
五十嵐 光仁 様(滝谷)

地域ふれあいサロンのご案内

ひまわりサロン

1月23日(月) 午前10時から

町民センター

社会福祉協議会 ☎(52)3344

町からお知らせ

1月分納税のご案内

【納期限】 1月31日

町県民税(普通徴収・第4期)

後期高齢者保険料

(普通徴収・第6期)

忘れずに納付ください。

町民課町民係 ☎(48)5555

日 平成29年2月2日(木)

午後1時30分から

午後3時45分の間の30分

場 会津若松合同庁舎

本館3階地域連携室

会津若松市追手町7-5

備 相談無料

事前予約受付番号

☎024-521-8216

(原子力損害の賠償等に関する

問い合わせ窓口(原子力損害対策

課内))

受付時間

午前8時30分から

午後5時15分まで(平日)

平成29年度三島町職員(大卒程度)

採用候補者試験について

三島町職員採用候補者試験を次により行います。

【試験職種及び採用予定人員】

一般事務 若干名

【受験資格】

昭和56年4月2日以降に生まれ

た者で4年制大学を卒業、または平

成29年3月までに卒業見込の者(民

間企業等社会人経験者も可)

※その他、詳しくはお問合せくだ

さい。

日 平成29年2月19日(日)

場 三島町町民センター

備 資料請求や試験の詳細につきま

しては、三島町役場総務課総務係

(☎0241(48)5511)にお問

合せください。

たくさんのご寄附

ありがとうございます

町への寄附(ふるさと納税)

- 角田 ミツエ 様(神奈川県横浜市)
丹野 光明 様(宮城県仙台市)
小貫 芳信 様(東京都杉並区)

今年度より、ふるさと納税に対する返礼品の制度を導入し、また特別町民の皆様からの年会費もふるさと納税として取り扱わせていただいております。多数の皆様からのご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

総務課総務係 ☎(48)5511

町の人口と世帯(12月現在)

Table with 4 columns: Category, Value, Change, and another Value. Rows include 人口, 出生, 死亡, 転入, 転出, 増減数, 男, 女, 世帯.

③住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町での刑法犯(11月1日現在)

1件

架空請求詐欺にご注意!

会津坂下警察署管内で28万円被害

11月24日、弁護士の名カジマと名乗る男から「サイト利用料未納があり、明日裁判が行われる。損害金は60万円だが、相手方と示談できれば裁判は回避できる。」などと電話で言われ、この話を信じたAさんは、会津坂下町内の金融機関から指定された口座に4回に分けて合計28万円を入金した。相手方から「入金が確認できない。再度入金して欲しい。」などと言われたことから、不審に思い金融機関に相談したため被害が判明したものの。



広報みしま新コーナーの設置について

2月号より新たに新コーナーの記事欄を設けます。発行月の前月に役場窓口へ届け出のあった方々を左記のとおり、ご紹介するコーナーです。掲載する、しないの希望については、各種届出の際に同意書を記入していただき、それを基に掲載させていただきます。

掲載基準 三島町に住所を有する者。

【新コーナー】記載例

はじめまして赤ちゃん

三島桐子ちゃん 母... 父... 【地区】

末永くお幸せに

今日はいいお天気でした。

お悔み申し上げます

三島桐太郎さん(90) 【地区】

※この欄に掲載を希望しない方は、届出の際にその旨をお伝えいただくか、総務課総務係(☎48)5511)までご連絡ください。

コンビニATDパイス

この言葉がでたら詐欺です!

▽還付金詐欺

- 医療費の還付金がある
●税金の還付金がある
●ATMまで行って
●電話でATMの操作を教える

▽架空請求詐欺

- 有料サイト利用料金が未納
●裁判になる
●あなたの名義で証券を買った
●名義貸しは違反だから逮捕される
●過去の被害を取り戻せる

街頭犯罪発生件数(11月現在)

Table with 3 columns: 区分, 管内, 三島町. Rows include 空き巣ねらい, 忍び込み, 出店荒らし, 自動車盗, 自転車盗, 車上ねらい, 街頭犯罪合計, 全刑法犯.

※全刑法犯には街頭犯罪以外(器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など)の犯罪発生件数が含まれます。
※上記発生件数は、平成28年1月1日からの累計数となっております。

交流センター山びこ

収蔵作品展

小堀貞・長谷川雄一・浅見晃司
皆川雅舟・渡部憲司・橋本広喜
二瓶溪流
油絵・水彩・木版画・木彫り・
書など十数点を展示予定

期間

平成29年1月7日(土)〜2月19日(日)
午前9時〜午後5時

月曜休館

(月曜祝日の場合火曜日)

入場無料



ましまの交流センター

大沼郡三島町大字名入字諏訪ノ上

四一八番地

三島町交流センター 山びこ

TEL(52)2165

# 国指定重要無形民俗文化財 サイの神の再現

家内安全・無病息災・五穀豊穡を祈る

三島町 第45回

平成29年  
2/11

# 雪と火のまつり



《テレサ・テン来町40周年記念企画》

テレサ・テンの実兄が運営する(財)テレサ・テン文教基金会の契約歌手「KEY」によるテレサ・テンのカバー曲のライブステージ!

## 《雪と火のまつりスケジュール》

- 12:00 雪と火のまつり開会
- 13:00 団子さし
- 14:00 雪上イベント
- 16:00 パチッコンお笑いステージ
- 17:00 テレサ・テン来町40周年記念企画  
"KEYライブ(1stステージ)"  
御神火採火式・奉納神楽
- 17:30 鳥追い
- 18:00 サイの神点火
- 18:10 花火大会
- 18:30 "KEYライブ(2ndステージ)"
- 19:00 福々みかんまき
- 19:30 雪と火のまつり閉会

## ◆交通のご案内◆

会津坂下IC下車 国道252号 約30分



主催：雪と火のまつり実行委員会 第45回雪と火のまつり

後援：極上の会津プロジェクト協議会・奥会津五町村活性化協議会・電源開発株式会社  
福島民報社・福島民友新聞社・福島テレビ・ふくしまFM・ラジオ福島

【お問合せ】三島町観光協会 TEL0241 - 48 - 5000

雪と火のまつりのサイの神の写真を募集します。第46回雪と火のまつりのポスター・チラシに使用した際、お名前を表記させていただきます。詳細は三島町観光協会までお問合せください。



自然・文化に触れ、人と触れあう・・・奥会津三島町の冬

サイの神 団子さし 鳥追い 花火大会 福々みかんまき

三島町の伝統小正月行事。当日の朝に地元のおばあちゃんや中学生女子が作ったサイの神を飾り付けます。

鳥追いの掛声と共に行列を雪の足跡のまつり会場に集まらせます。ステージ上で掛けひびく花火が打ちあがり、合いを披露します。

毎年恒例豪華賞品が当たるくじ付きの福々みかんまきです。

## 町長日記 ～西年を迎え～

No. 18

新年明けましておめでとうございます。職員は勿論ですが、町民の皆さまに支えられ、平成27年度に「第4次振興計画後期基本計画」や「地方創生計画」の5年計画を策定する事ができ、平成28年度4月から計画に基づき事業を展開しております。計画、即事業の実施という事も出来た部分もありましたが、現実的には様々な問題や課題があり計画の甘さを反省している事業もございます。

12月19日に1泊2日の宮下病院の人間ドックを受診し、宿泊場所がホテル栄光館の2階「花林の間」でした。作者は知るよしもないですが、床の間に日本画が飾ってあり、その中に以下のような文章が記載してありました。「前を歩いていてくれた人のおかげで今こうして僕は歩いていられます」この分かりやすく且つ、人生の心のひだに触れ、歴史の継続性を感じる含蓄のある文章に出会い、様々な場面面で力が養える時、私自身の再燃焼のエネルギーになるなど、備忘帳に記入し、枕元に置き、温泉の効能もあり深い眠りにつきました。

温故知新や不易流行の旗の下に町民の皆さまの支援をバックにして乾坤一擲の精神を胸に、職員とチーム三島の魂として、佐藤一斎の言志四録の抜粋である「一灯を提げて暗夜を行く、暗夜を憂ふるなかれ、ただ、一灯を頼め」の精神で、地方創生計画事業の実施においても熟慮断行をして行く覚悟であります。平成二十九年は西年です。町にとって有効な情報収集をし、それを町民の為に活かすことのできる実りある一年にしたいと考えています。

三島町長 矢澤 源成